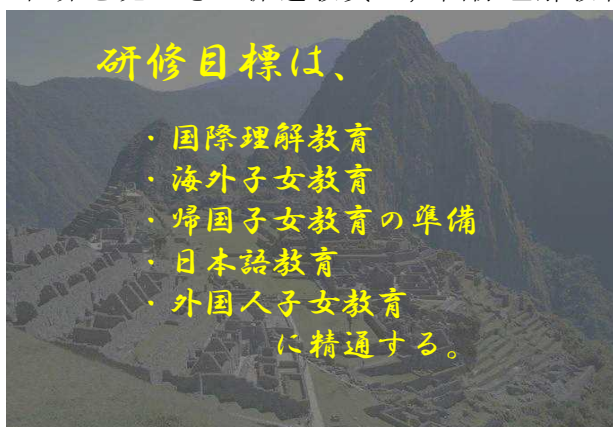


「国際理解教育の現状と、海外日本人学校・補習校の様子」

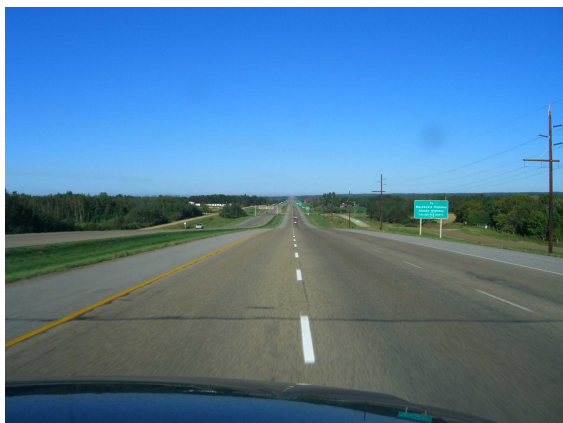
世界を見てきた派遣教員の、国際理解教育への実践についてお話しします。



私たちは、ただ旅行に行って観光地など目立ったところを見てきたということではなくて、実際の生活の場を経験してきたわけです。まあ、いろんなことを見てきているわけです。そんなみなさんは、在外教育施設で素材を収集できましたか。映像をたくさん撮られた方も多いことと思いますが、映像素材作成にあたっては、明確な目的の提示が必要です。そういう意味では、スナップ写真などは厳禁です。海外派遣経験者が、全て国際理解教育を推し進め、経験を還元していたなら、日本の子どもたちは世界に通用する素晴らしい教育ができていたはずですが、残念ながら多くの派遣経験者が、埋もれてしまっています。例え、帰国後の勤務校で、海外での経験を話しても、毎回同じ話では、子どもたちに飽きられてしまいます。だから、全海研の仲間が集まって教材を共有化し、国際理解教育を広げて行ってほしいのです。ぜひ、貴重な静止画・動画などの資料素材を、全海研のホームページを利用してストックさせてください。

帰国後の成果還元は、次のような場で、できているでしょうか。

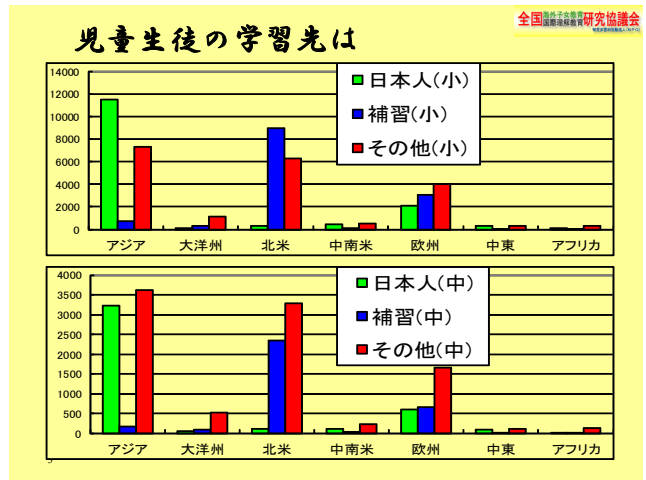
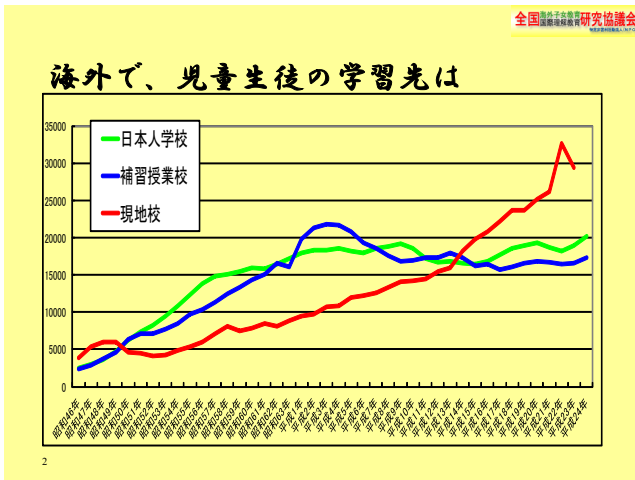
- ・ 在籍校教師へ
- ・ 研究会等での同一行政内教師へ
- ・ 児童生徒へ
- ・ 地域社会へ



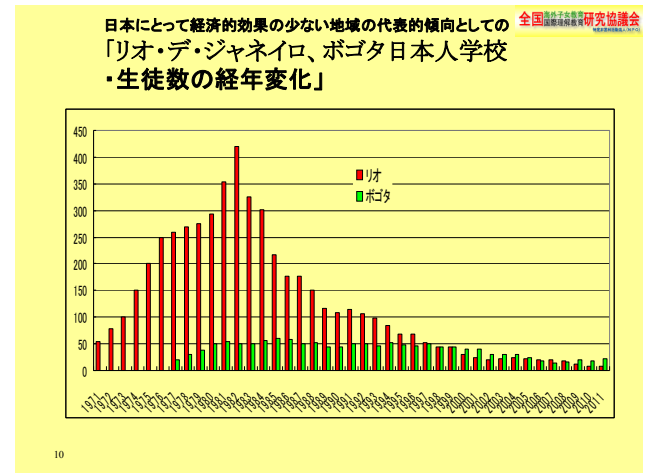
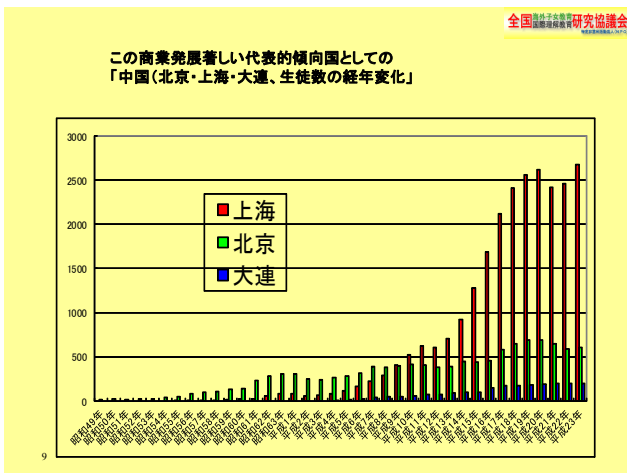
カナダの国道（ずっと見えても20km）



リオのキリスト像（テレビ塔から撮影）



海外で、児童生徒の学習先は、上のグラフのように現地校の割合が高くなっています。地域別では、北米や欧州の割合が高いです。



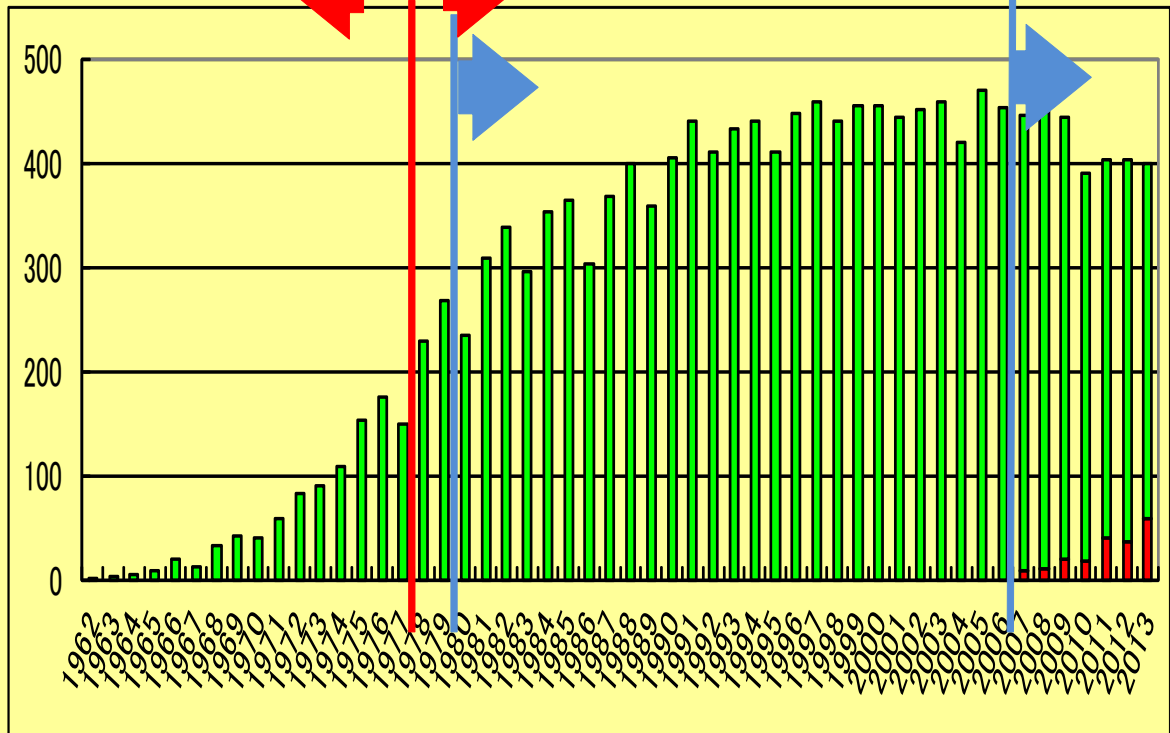
日本人学校の児童生徒数の変化については、経済的効果の著しい中国で、上海や北京などが非常に大規模になっています。逆に、日本にとって経済的な効果の少ない地域の代表として、ブラジルのリオ・デジャネイロやコロンビアのボゴタが挙げられます。最近では、10人から20人規模の小さな学校になっています。どうしてこんなに極端なことになるのでしょうか。それは、経済至上主義によって、利益のある地域に企業の進出が集中するからだと考えられます。

さて、次は保護者の考えです。まず、日本の教育を継続したいという願いがあります。帰国後困らないようにしたいということです。そして、滞在地の人や物事を、見下ろした態度や認識が横行しがちです。さらに、外国語は英語だけ、現地理解教育はやってもらいたくないということになってしまいます。

では、教師としてはどのような要望があるのでしょうか。まず、受験指導のできる教師が望まれます。他には、時間をいとわない教師。性格の明るい教師。誰にも公平な教師。物事に意欲的に取り組む教師などが挙がってくるようです。それらを人間的な面で見ると、精神的に若い教師。よい人間関係を築ける教師。冷静沈着な教師。勇気ある行動力のある教師。近隣の補習校などにも協力できる教師などとなっています。

今年も約400人の先生方が海外に派遣されます。毎年の派遣教師の推移は次のようになっています。シニア派遣は、毎年増加し来年度の派遣は58人になりました。

経年派遣教師数



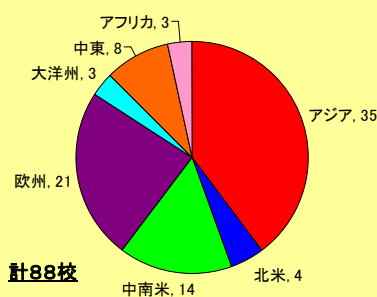
派遣者数の多い日本人学校としては、バンコクが67人、上海浦東が41人、上海虹橋が37人、ジャカルタと台北が26人、クアラルンプールと北京が25人となっています。逆に、派遣者数の少ない日本人学校としては、グアテマラが4人、リオ・デジャネイロやパナマやパースなどが5人となっています。

在外教育施設の概要

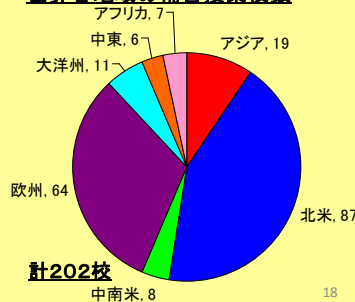
在外教育施設の設置状況(H24年度)

学 校	H元	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
日本人学校	84	82	82	85	85	85	87	89	89	89	88
補習授業校	136	188	186	185	187	195	201	205	201	203	202
私立在外校	10	13	13	12	12	12	10	10	10	10	10

世界各地域の日本人学校数



世界各地域の補習授業校数



在外教育施設の概要は、左の表のようになっています。日本人学校は、アジアに多く88校あります。それに対して、補習授業校は、北米や欧州に多く、202校となっています。世界の補習校には、もし旅行などで行けなければ寄ってあげてください。大変喜ばれると思います。

国際結婚による児童生徒数

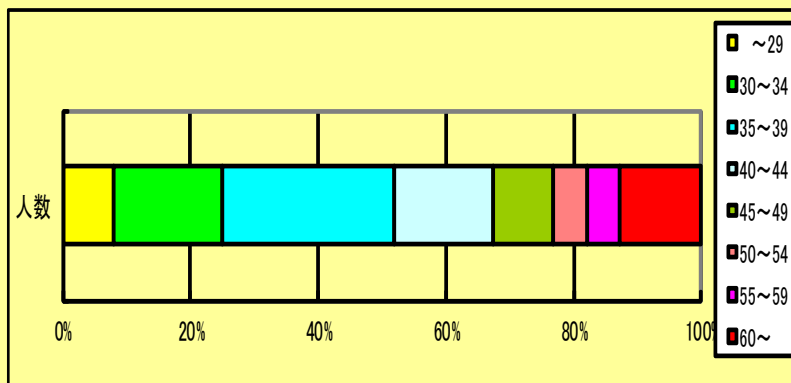
国際結婚の在籍者が100人以上の学校

学校名	在籍者	国際結婚	同比率	日本語指導	同比率
バンコク	2,707	274	12,7%	46	2,1%
台北	749	259	31,2%	18	2,2%
上海	3,063	175	8,4%	0	0%
北京	641	137	23,6%	9	1,6%
ジャカルタ	946	113	13,1%	21	2,4%
ソウル	381	109	32,2%	18	5,3%
シンガポール	1,484	109	6,7%	9	0,6%
全体	9,971	1,176	11,8%	283	2,8%

○近年、アジア地域において国際結婚による児童生徒が増加

19

最近の日本人学校の課題としては、国際結婚による在籍者の増加があります。在籍者が100人を超える学校が7校もあり、日本語指導の必要性が高まっています。



上のグラフは、派遣教員の年代別構成です。30代の若い教員が約半数を占め、日本の学校と大きな違いがあります。

さて、私たち教員は、子どもが一家団らんの時に、1日1つは話題を提供できるようにしたいと思えます。また、子どもたちが学校に朝起きて、喜んで行けるような気持ちにさせるよう楽しい学校を作っていかなければいけません。私たちは、子どもたちに「日本人としての自信・誇りを持たせ、生命・人命を尊ぶ姿勢を持った人間を育てたいものです。

どうぞ、今までの経験を生かして、児童・生徒に「あたたかい教育」を、さらにあたたかい教職員関係を構築してください。みなさんの、地元でのご活躍をお祈りしています。